

質 問 回 答 書

平成 25 年 12 月 16 日

「(案件名) ベトナム国南北鉄道改良スコーピング調査」

(公示日:平成 25 年 11 月 20 日 / 公示番号:1)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	3 頁 第 5 プロポーザルに記載されるべき事項 2 業務の実施方針等 注 1)	「(1)業務実施の基本方針」及び「(2)業務実施の方法」を併せた記載分量は 20 ページ以下とありますが、単に指示書にある説明を繰り返すだけでも相当のページ数になり、これに提案内容を加えると 20 ページ以下で記載をまとめることは難しいと考えております。 そこで、(1)及び(2)の記載分量が 20 ページの上限を超える場合、どのように評価に影響するのか、具体的にご教示いただけますでしょうか？ 現段階で 3 ページ程度超える見込みです。	指定の上限ページ数を超えることに対しては厳密に言えば減点対象となります。 ただし、簡潔かつ明瞭にまとめていただいていることが前提で、その上でなお数ページを超えて記載せざるを得ないことが読み取れる内容であればその内容に対して高い評価をすることはあり得ます。
2	18 頁 第 3 業務実施上の条件 2.2 業務従事者の構成(案)	11 月 20 日に出された公示案内では主要な分野として、「経済・財務分析」が記載されておりました。しかし、業務指示書の第 3 2.2 業務従事者の構成(案)では「経済・財務分析」が含まれておりません。 業務指示書の内容を確認するに、インフラコンポーネントの整備優先順位付けや、優先プロジェクトの提案にも経済・財務的判断を伴うことから、「経済・財務分析」に関する業務従事者は必要と考えますが、これを取って含まないとした具体的な理由をお聞かせ願えますでしょうか？	協力準備調査と比較して、本調査における経済・財務分析は概要レベルにとどまるため、総括が同業務を兼ねることも可能と判断しました。ただし、業務指示書にも記載してありますとおり、業務内容及び業務工程を考慮のうえ、より適切な団員構成がある場合は、その理由とともにプロポーザルにて提案していただければ幸いです。

以 上